

事例発表④ インドからの報告

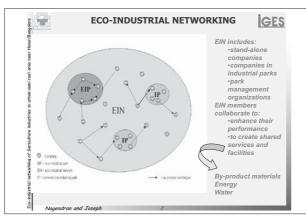
「養蚕業を中心とした環境調和型産業クラスターの 開発における企業間ネットワークの構築!

アンナ大学 環境研究センター 環境科学科教授 (インド・チェンナイ市) ラマチャンドラ・ムーティ・ナゲンドラン



本日は、インド・ホスール/バンガロール周辺の、 養蚕業を中心とした都市農村境界域における環境調 和型産業クラスターの開発における企業間ネット ワークの構築についてお話しさせていただきます。

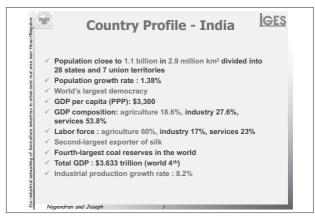
アジアには珍しく、インドでは養蚕業が今も盛んに営まれています。インドには、経済的な理由以外にも、養蚕業を支援・振興し、またその成長を促さなければならない社会的な背景があります。先ほどアンブモリさんから、環境調和型産業ネットワークのお話がありましたが、このテーマこそが私たちの研究の基盤となっています。



スライド②

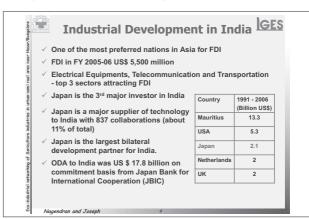
最初に、インドの概要について簡単にご紹介します。インドは現在、世界の「IT 拠点」と呼ばれています。また、世界最大の民主主義国家であり、農業部門が労働人口の60%を占めています。今回の研究のテーマに関して言えば、インドは世界第2のシル

ク輸出国でもあります。工業生産成長率は8.2%に 達しています。



スライド③

インドの産業は、このところ飛躍的な発展を遂げており、昨年度と今年度の外国直接投資(FDI)は55億米ドルに上っています。とても喜ばしいことですが、日本からも多額の投資を寄せていただいてお

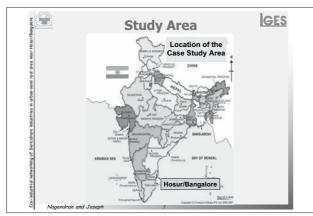


スライド④



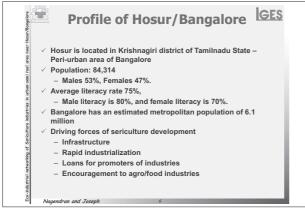
り、この表にあるように、1991年~2006年までの対インド投資額は21億米ドルにも達しています。特に、日本の政府開発援助 (ODA) 政策や、国際協力機構 (JICA) をはじめとする、日本とインドの技術協力イニシアティブにより、以前から大きな支援をいただいています。

私たちの研究対象地域は、インドのシリコンバレーと呼ばれるバンガロール市と、タミル・ナードゥ州ホスールの周辺地域です。ここは、まさに都市部に挟まれた地域で、今回の研究に格好の条件を備えています。この部分、ホスール/バンガロール間の都市農村境界域が対象地域となります。



スライド⑤

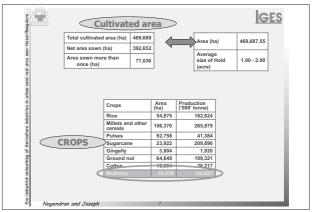
次に、研究対象となっている地域の概要をご説明 します。対象地域の都市側に当たるバンガロール市 は、610万の人口を抱える国内有数の大都市です。 これに対して、農村境界域の人口はわずか8万



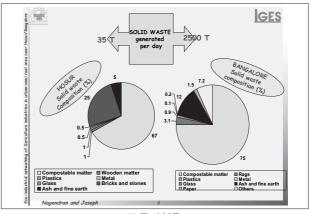
スライド⑥

3,000人で、カルナタカ州とタミル・ナードゥ州の間 に位置しています。

この地域では、恵まれた環境やインフラ、政府の 支援を背景に、1世紀以上にわたって養蚕業が営ま れています。



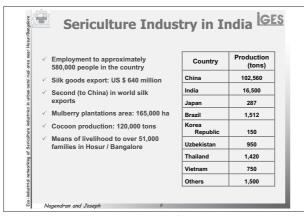
スライド⑦



スライド®

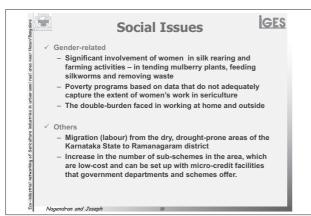
スライドをご覧いただくと、農産物の中でも特に 桑が広く栽培されていることがお分かりいただける と思います。桑の葉は、上質の糸、シルクを生み出 す蚕のエサになるからです。インドでは、58万人以 上が養蚕業に従事しており、対象地域だけでも5万 世帯近くが養蚕業で生計を立てています。先ほども 申しましたが、インドでは、特にこの対象地域が中 心となり、国内のシルク生産を支えています。

養蚕業の研究の結果、社会問題、特にジェンダー (性別)関連の問題が重要課題として浮き彫りになり ました。養蚕業は、サプライチェーンの中で、女性



スライド⑨

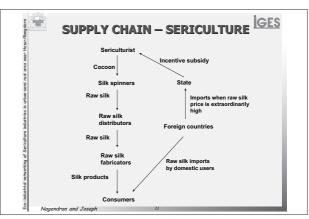
が主体的な役割を担う数少ない産業の1つです。政府も数々の施策を打ち出し、こうした社会的重要課題に取り組んできているにもかかわらず、他の事例でもよく耳にしますが、この地域でも、社会的な必要性に迫られ、都市部、特に近隣の最大の都市であるバンガロール市へ移り住む人が後を絶ちません。



スライド⑩

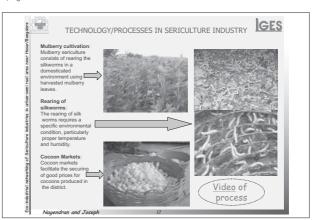
この図は、養蚕業のサプライチェーンの全体像を表したものです。出発点は、零細事業者である養蚕業者で、次いで紡績業者、生糸の生産者と販売者、生糸製造業者または織物業者、そして消費者へとリンクが続いています。サプライチェーンの右側を見ると、製品を輸出するビジネスチャンスが豊富にあることが分かります。このサプライチェーンの図を通して皆様にお伝えしたいのは、サプライチェーンにおいて、関連業者の多くがリンクされており、特

に養蚕業者と紡績業者、生糸製造業者と政府、そして最終製品の取扱業者と輸出相手国の間に、とても強いリンクが存在しているということです。その一方で、一部にはリンクの切れ目も見られ、この部分を埋めることが求められています。今回の研究を機に、リンクの切れ目がすべて埋まることを願っています。



スライド⑪

ここでは、シルク生産の工程をご覧いただきま しょう。まず、桑の木を栽培し、桑の葉をエサにし て蚕を育てます。インドではBombyx mori という 種類の蚕を育てています。蚕はやがて繭になりま す。

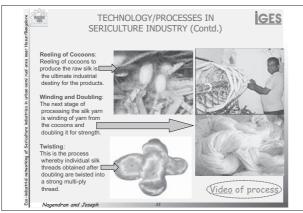


スライド⑫

次の工程では、繭からシルクを繰り、巻き取って 必要な強度を確保した上で撚り合わせます。こうし てできた糸は、様々な織物製品に加工されます。

養蚕業者の多くは、政府の補助を受けています。





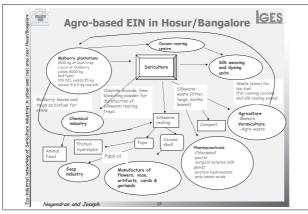
スライド13



スライド19

こうした業者は養蚕家の育成に力を入れており、また協同組合も養蚕業に関わる社会経済的問題に積極的に取り組んでいます。

この図は、養蚕業に携わる様々な関係者とビジネスチャンス、そして事業者の関連性をまとめたものです。この図を見ればはっきりと分かることですが、



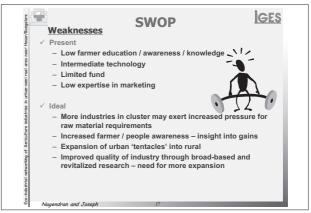
スライド⑮

この地域では、養蚕業のリンクが、零細事業者、すなわち家内事業者からスタートし、中小事業者を経て大規模産業や大手事業者へ至っています。さらに、養蚕業の工程からは、クロロフィル、ペクチン、タンパク質加水分解物、ポリアミノ酸などの化学物質はじめ、様々な副産物が生成されており、多くのビジネスに利用されています。こうした副産物を利用しているのはハイテク産業ですので、この対象地域でも、日本など先進国からの技術移転を進めるとともに、環境調和型産業クラスターの強化と目的達成を図ることが求められています。また、副産物を利用している他の例としては、蚕のさなぎから油を抽出し、石けん製造業者などの小規模事業者に供給しています。

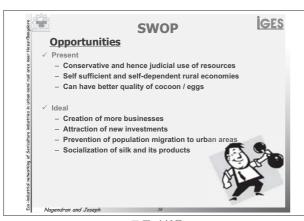
研究の結果を SWOP (強み、弱み、機会、可能性) に分類しました。



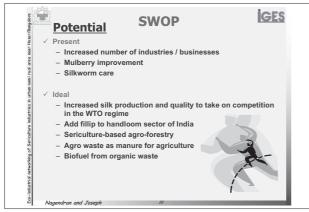
スライド16



スライドの

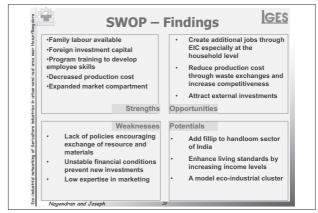


スライド18



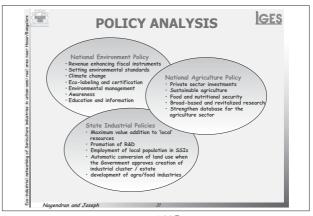
スライド19

これが、SWOP 分析の結果をまとめた表です。ご 覧のように、家内労働力が既に存在しているという 点が大きな強みとなっています。先ほどの木材バイ オマスの事例研究でも話がありましたが、EIC を取 り巻く状況においては、この分野には既に人的資本 と外国投資という条件が揃っています。例えば、 JICA の投資はクラスターの強化に大いに役立って います。一方、主な弱点としては、資源・資材の交 換を促進する施策が存在しない点が挙げられると思 います。この点については後ほどもう少し詳しく説 明いたします。また、財務基盤が安定していないた めに、新たな投資が妨げられているという弱点もあ ります。次に機会ですが、環境調和型産業クラス ターを構築すれば、雇用を創出するだけでなく、特 に技術移転という形で外部から投資を呼び込むチャ ンスが増大します。可能性としては、住民の収入を 向上し、生活水準を改善する道が大きく開かれることがあります。さらに、モデルとなる環境調和型産業クラスターをこの産業分野に構築することもできるでしょう。



スライド20

他の産業とは異なり、インドの養蚕業は、複数の 省の管理下に置かれています。つまり、環境省、農 業省、産業省が養蚕業を担当しており、この3つの 省が養蚕業の推進力となっています。国の環境政策 は、養蚕業にとって非常に頼もしい内容となってお り、特に、品質を保証するシルクマークの導入に向 けた大きな動きが見られます。農業政策では、民間 投資や持続可能な農業について定めており、また、 この分野の政策課題の1つに、環境調和型産業クラ スター構築推進を位置づけています。

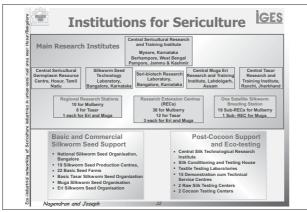


スライド②

こうした政策は様々な機関によって実施されます。 なお、このスライドにある実施機関の多くが、JICA

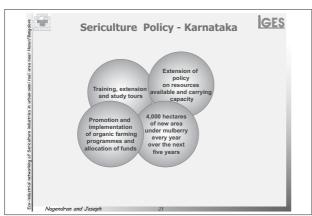


から惜しみなく寄せられた支援金によって設立され たことを申し添えておきたいと思います。

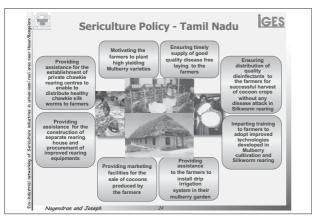


スライド22

以上の成果や実施機関の積極的な取組みを背景に、 カルナタカ州とタミル・ナードゥ州は、養蚕業に的 を絞った特別な政策を打ち出しています。



スライド23



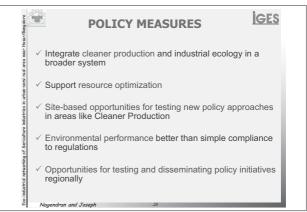
スライド29

特にタミル・ナードゥ州では、JICA の支援金と日

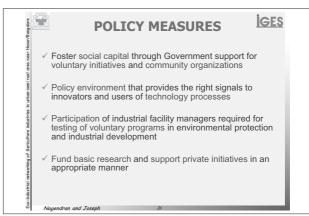
本の ODA 政策のお陰で、チャウキーにある養蚕センターやトレーニングセンターをはじめとする数々の施設が設立されています。

私たちの研究テーマに照らし合わせ、以上の政策 手段を分析した結果、こうした施策は、近代的な産 業エコロジーとクリーン・プロダクションの統合を 促進することがはっきりしています。

また、こうした施策は、様々な機関に対する政府 支援を通してソーシャル・キャピタルの充実を図る とともに、基礎研究を奨励し、民間の取組みを後押 しするものでもあります。



スライド25

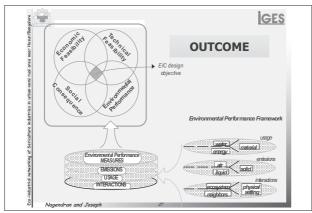


スライド26

このように、政策を適正に統合できれば、その成果として、養蚕業の経済的採算性、技術的実現性、そして環境パフォーマンスを向上し、社会的基盤を強化することが可能になります。その結果、環境調和型産業クラスターの目標達成に近づくことができ

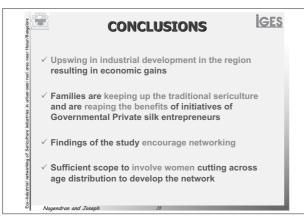


るのです。



スライド②

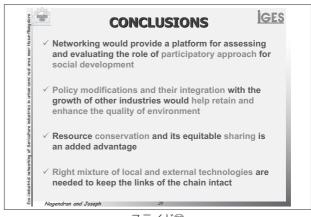
これまでの研究成果と収集したデータ分析を踏まえ、私たちは次の結論に達しました。まず、この地域は産業発展の可能性が広がっており、経済的利益を実現するだろうということです。次に、この地域の養蚕業は、ほとんどが零細な家内事業者で構成されているので、民間の養蚕業者を対象とした政府の施策が産業の発展を促す上で効果的であることです。また、環境調和型産業クラスターにおけるネットワークづくりの発展の可能性を秘めていることも挙げられます。そして、養蚕業ではジェンダーの問題が重要な要素となっていますが、ここにはあらゆる年齢層の女性が参加する余地が十分にあります。



スライド28

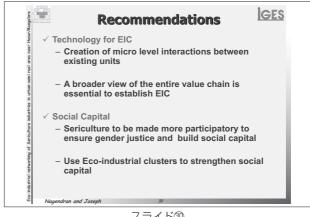
ネットワークを構築することは、社会発展に向けた参加型アプローチの役割評価・価値判断の基盤作りにつながるはずです。現政策を実行し、政策介入

を進めることは、この地域の環境を守るとともに、 資源を保全し、私たちが今後そこから手にする利益 を公平に配分するための効果的な道筋をつけること になるでしょう。私たちがすべきことは、現地と外 部の技術を適正に組み合わせ、リンクの切れ目を埋 め、つながりの強化を図ることなのです。



スライド29

これを実現するためには、養蚕業の場合、ミクロレベルのリンク、すなわち零細事業者、中小事業者、大規模業者をつなぐリンクを形成することが必要です。そのためには、バリューチェーン全体を大局的に眺め、環境調和型産業クラスターを構築しなければなりません。このクラスターは必ず大きな原動力になります。養蚕業の成功には、参加型アプローチと、ジェンダー間の公正が不可欠です。また、環境調和型産業クラスターを利用すれば、ソーシャル・キャピタルを強化することも可能です。



スライド30

本日のお話をまとめますが、研究対象地域の養蚕 業について言えば、産業クラスターは既に存在して いるものの、まだ十分機能するには至っていません。 環境調和型産業クラスターの構築に向けた取組みを

進めることにより、養蚕業に従事する中小事業者を 物理的・機能的に結びつけ、社会の発展と社会的価値 の向上に資する道が開かれるのです。以上で発表を 終わらせていただきます。ありがとうございました。



IGES

【インドからの報告】

Eco-Industrial Networking of Sericulture Industries in Urban– Semi Rural Area Near Hosur/Bangalore, India

養蚕業を中心とした環境調和型産業クラスターの開発における企業間ネットワークの構築

R. Nagendran and Kurian Joseph

R. ナゲンドラン

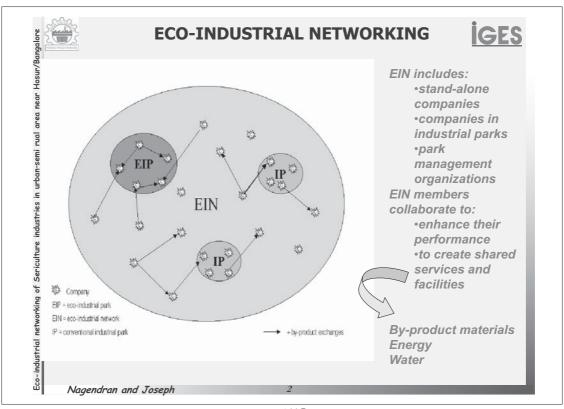
K. ジョセフ

Centre for Environmental Studies
Anna University
Chennai, India

nag nag@hotmail.com

Nagendran and Joseph

スライド①



スライド②





Country Profile - India

IGES

- √ Population close to 1.1 billion in 2.9 million km² divided into 28 states and 7 union territories
- √ Population growth rate: 1.38%
- √ World's largest democracy
- √ GDP per capita (PPP): \$3,300
- ✓ GDP composition: agriculture 18.6%, industry 27.6%, services 53.8%
- ✓ Labor force : agriculture 60%, industry 17%, services 23%
- √ Second-largest exporter of silk
- √ Fourth-largest coal reserves in the world
- ✓ Total GDP : \$3.633 trillion (world 4th)
- ✓ Industrial production growth rate : 8.2%

Nagendran and Joseph

スライド③



Industrial Development in India <u>İGES</u>



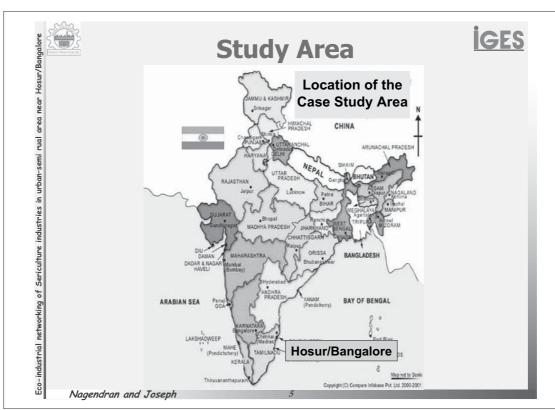
- ✓ One of the most preferred nations in Asia for FDI
- √ FDI in FY 2005-06 US\$ 5.500 million
- ✓ Electrical Equipments, Telecommunication and Transportation - top 3 sectors attracting FDI
- √ Japan is the 3rd major investor in India
- ✓ Japan is a major supplier of technology to India with 837 collaborations (about 11% of total)
- √ Japan is the largest bilateral development partner for India.
- √ ODA to India was US \$ 17.8 billion on commitment basis from Japan Bank for International Cooperation (JBIC)

Country	1991 - 2006
	(Billion US\$)
Mauritius	13.3
USA	5.3
Japan	2.1
Netherlands	2
UK	2

Nagendran and Joseph

スライド④

iges



スライド⑤

Profile of Hosur/Bangalore ✓ Hosur is located in Krishnagiri district of Tamilnadu State – Peri-urban area of Bangalore ✓ Population: 84,314 – Males 53%, Females 47%. ✓ Average literacy rate 75%, – Male literacy is 80%, and female literacy is 70%. ✓ Bangalore has an estimated metropolitan population of 6.1 million ✓ Driving forces of sericulture development

Rapid industrialization

- Loans for promoters of industries

- Encouragement to agro/food industries

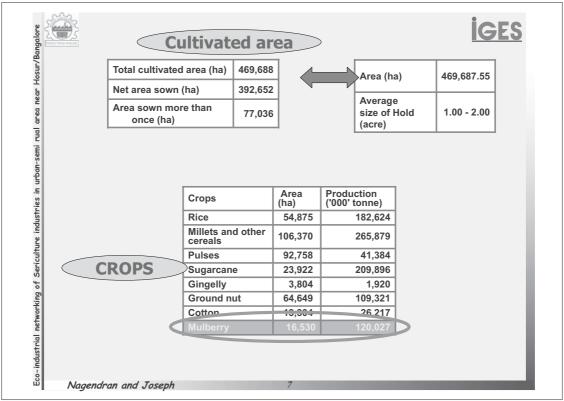
Nagendran and Joseph

- Infrastructure

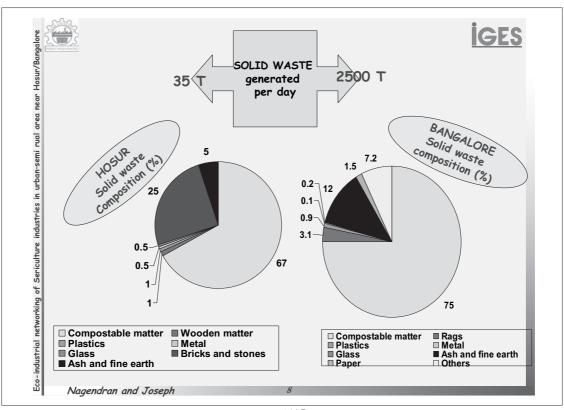
Eco-industrial networking of Sericulture industries in urban-semi rual area near Hosur/Bangalora

スライド⑥





スライド⑦



スライド®



Sericulture Industry in India IGES



- **Employment to approximately** 580,000 people in the country
- √ Silk goods export: US \$ 640 million
- √ Second (to China) in world silk exports
- ✓ Mulberry plantations area: 165,000 ha
- ✓ Cocoon production: 120,000 tons
- ✓ Means of livelihood to over 51,000 families in Hosur / Bangalore

Country	Production (tons)
China	102,560
India	16,500
Japan	287
Brazil	1,512
Korea Republic	150
Uzbekistan	950
Thailand	1,420
Vietnam	750
Others	1,500

Nagendran and Joseph

スライド⑨



Social Issues



√ Gender-related

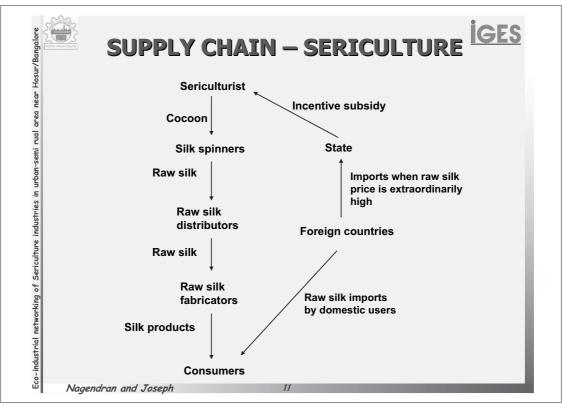
- Significant involvement of women in silk rearing and farming activities – in tending mulberry plants, feeding silkworms and removing waste
- Poverty programs based on data that do not adequately capture the extent of women's work in sericulture
- The double-burden faced in working at home and outside

√ Others

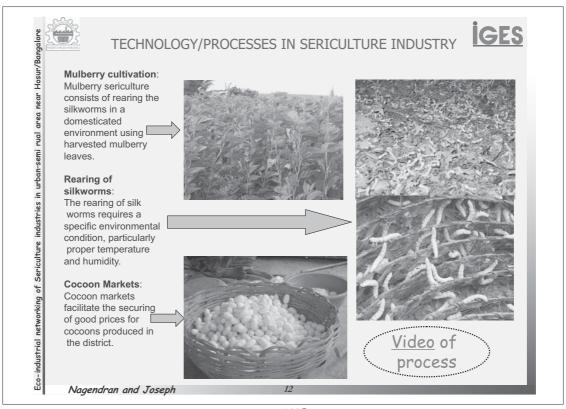
- Migration (labour) from the dry, drought-prone areas of the Karnataka State to Ramanagaram district
- Increase in the number of sub-schemes in the area, which are low-cost and can be set up with micro-credit facilities that government departments and schemes offer.

Nagendran and Joseph

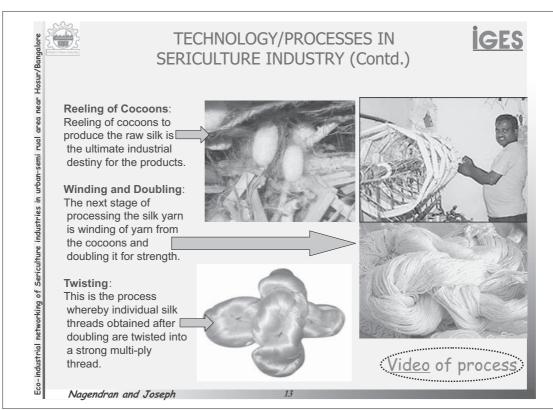




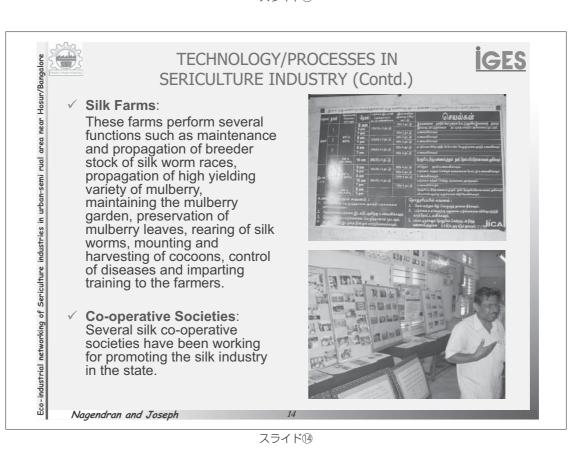
スライド①

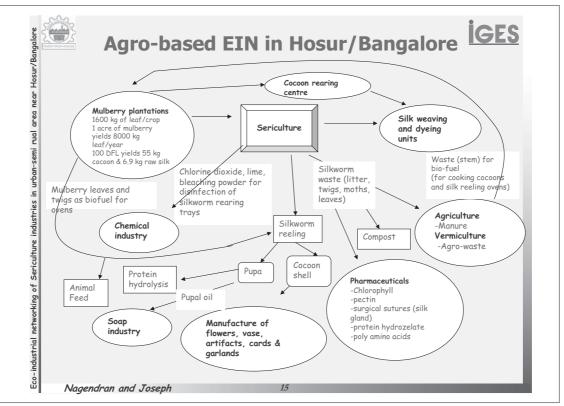


スライド12



スライド(3)





スライド⑮



スライド(6)



SWOP



Weaknesses

- ✓ Present
 - Low farmer education / awareness / knowledge
 - Intermediate technology
 - Limited fund
 - Low expertise in marketing

✓ Ideal

- More industries in cluster may exert increased pressure for raw material requirements
- Increased farmer / people awareness insight into gains
- Expansion of urban 'tentacles' into rural
- Improved quality of industry through broad-based and revitalized research – need for more expansion

Nagendran and Joseph

17

スライドの



SWOP



Opportunities

- ✓ Present
 - Conservative and hence judicial use of resources
 - Self sufficient and self-dependent rural economies
 - Can have better quality of cocoon / eggs
- √ Ideal

Eco-industrial networking of Sericulture industries in urban-semi rual area near Hosur/Bangalor

- Creation of more businesses
- Attraction of new investments
- Prevention of population migration to urban areas
- Socialization of silk and its products



Nagendran and Joseph

18





Potential

SWOP



✓ Present

- Increased number of industries / businesses
- Mulberry improvement
- Silkworm care

√ Ideal

- Increased silk production and quality to take on competition in the WTO regime
- Add fillip to handloom sector of India
- Sericulture-based agro-forestry
- Agro waste as manure for agriculture
- Biofuel from organic waste



Nagendran and Joseph

19

スライド(19)



SWOP – Findings



- •Family labour available
- ·Foreign investment capital
- •Program training to develop employee skills
- Decreased production cost
- Expanded market compartment
- Create additional jobs through EIC especially at the household level
- Reduce production cost through waste exchanges and increase competitiveness
- Attract external investments

Strengths

ogths Opportunities

Weaknesses

- Lack of policies encouraging exchange of resource and materials
- Unstable financial conditions prevent new investments
- Low expertise in marketing

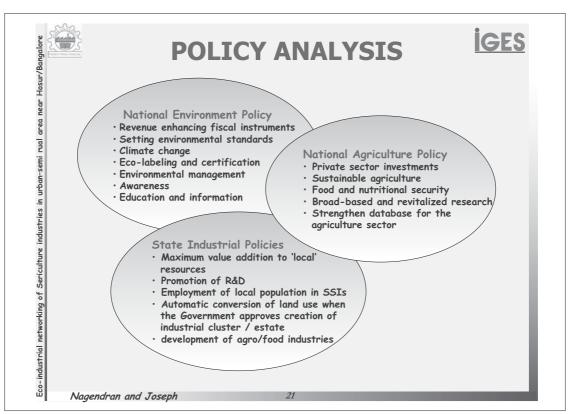
Potentials

- Add fillip to handloom sector of India
- Enhance living standards by increasing income levels
- A model eco-industrial cluster

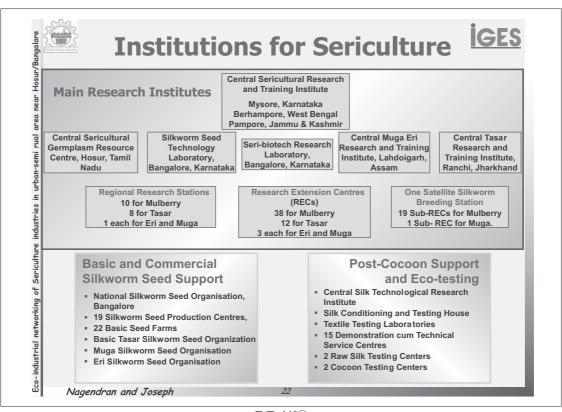
Nagendran and Joseph

20

スライド20

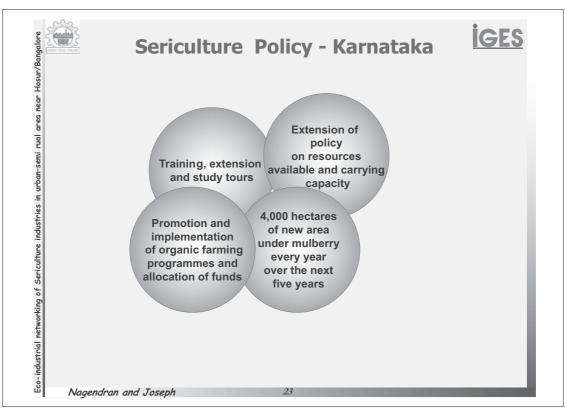


スライド②

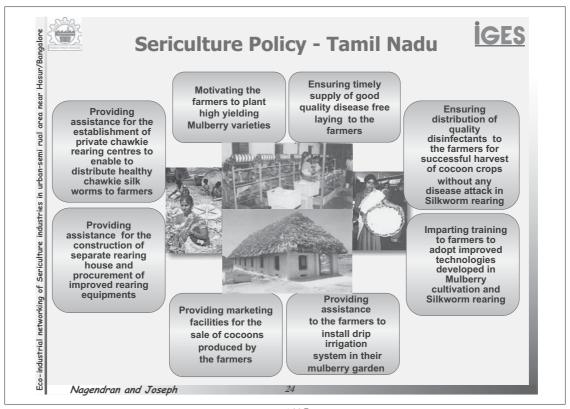


スライド22





スライド23



スライド四





POLICY MEASURES

IGES

- ✓ Integrate cleaner production and industrial ecology in a broader system
- √ Support resource optimization
- ✓ Site-based opportunities for testing new policy approaches in areas like Cleaner Production
- ✓ Environmental performance better than simple compliance to regulations
- ✓ Opportunities for testing and disseminating policy initiatives regionally

Nagendran and Joseph

25

スライド窓



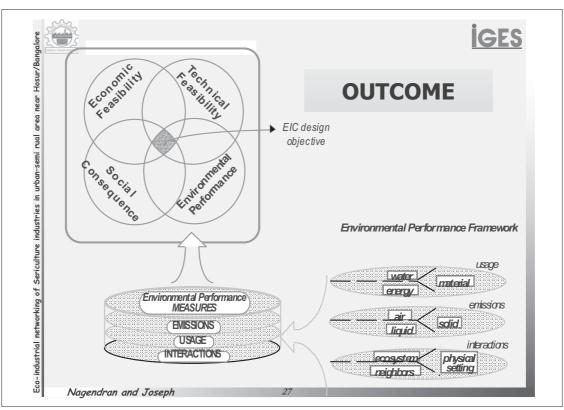
POLICY MEASURES



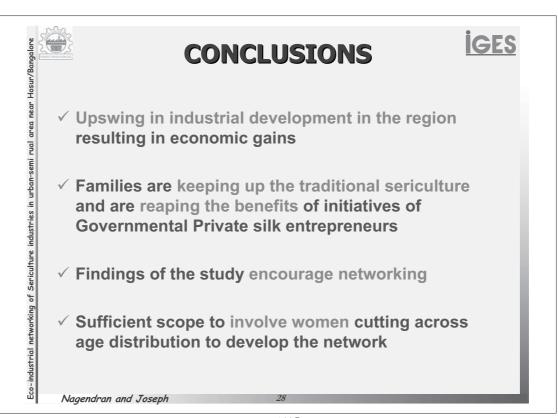
- √ Foster social capital through Government support for voluntary initiatives and community organizations
- ✓ Policy environment that provides the right signals to innovators and users of technology processes
- ✓ Participation of industrial facility managers required for testing of voluntary programs in environmental protection and industrial development
- √ Fund basic research and support private initiatives in an appropriate manner

Nagendran and Joseph

26



スライド②



スライド28



CONCLUSIONS



- ✓ Networking would provide a platform for assessing and evaluating the role of participatory approach for social development
- ✓ Policy modifications and their integration with the growth of other industries would help retain and enhance the quality of environment
- √ Resource conservation and its equitable sharing is an added advantage
- √ Right mixture of local and external technologies are needed to keep the links of the chain intact

Nagendran and Joseph

29

スライド29



Recommendations



- √ Technology for EIC
 - Creation of micro level interactions between existing units
 - A broader view of the entire value chain is essential to establish EIC
- √ Social Capital
 - Sericulture to be made more participatory to ensure gender justice and build social capital
 - Use Eco-industrial clusters to strengthen social capital

Nagendran and Joseph

スライド⑩